



与謝野町

第17号

平成22年7月23日

議会だより



与謝野町消防団 操法大会

主な記事

新たな議会の構成	2 P
平成22年度一般会計補正予算	6 P
ここが聞きたい(一般質問)	14 P

表紙写真を募集します

町内でのイベントの様子や、日々の町の様子など、あなたの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか？

●応募方法 撮影した写真データを電子メールでお送りください。 ●応募先 gikai@town.yosano.lg.jp

構成 総務常任委員会



山添藤真
副委員長
野村生八
家城 功
委員長
勢旗 毅
宮崎有平
谷口忠弘

副議長
谷口忠弘

文教・厚生常任委員会



杉上忠義
糸井満雄
伊藤幸男
今田博文
委員長
赤松孝一
副委員長
多田正成

産業・建設常任委員会

議会

和
田
裕
之
副
委
員
長

塩
見
晋
委
員
長

有
吉
正
監
査
委
員

浪
江
郁
雄

小
林
庸
夫

井
田
義
之



議会広報特別委員会

山
添
藤
真
委
員
長

和
田
裕
之
副
委
員
長

谷
口
忠
弘

多
田
正
成

杉
上
忠
義

野
村
生
八

塩
見
晋



監
査
委
員
有
吉
正

議
長
井
田
義
之

議長 あいさつ

私のねがい



議長 井田義之

与謝野町誕生から早や4年が過ぎ、2回目の審判を受け、第3代目の議長に就任させていただきました。

1 期目の4年間は総合計画を中心とした、多くの計画やビジョンで新町の方向性が描かれました。

2 期目はこれらの大半を具現化する4年間であり、責任の重さを痛感致しております。

今私達は何をなすべきか。原点に立ち返って考えなければなりません。

地方自治体は2元代表制であります。すなわち町長も町民から選ばれた代表であります。私達議員も選ばれた皆様方の代表であります。

私達議会は『オールイスマン』ではなく、行政と適度な緊張感を保ちながら切磋琢磨する、このことをしっかりと自覚しなければならぬと考えています。

行政の方々に負けないように勉強し、知恵を出し、皆さんの声や意見を聞き、時には理解を求めながら、与謝野町の将来の礎を築かなければなりません。

そのためにも皆さんとの対話が必要です。

議員に言ってください。私達を使ってください。

よろしく願います。

会派の届出

与謝野クラブ

糸井満雄
勢簾 毅
家城 功

日本共産党

与謝野町議員団

野村生八
伊藤幸男
和田裕之

与謝連峰クラブ

小林庸夫
多田正成
宮崎有平

21クラブ

今田博文
谷口忠弘

民主みらいの会

有吉 正
杉上忠義

議会運営委員会

委員長 伊藤幸男

副委員長 有吉 正

小林庸夫

糸井満雄

今田博文

谷口忠弘

**与謝野町宮津市
中学校組合議会議員**

谷口忠弘 多田正成
赤松孝一 杉上忠義
山添藤真 糸井満雄

**宮津与謝
消防組合議会議員**

井田義之 勢簀 毅
赤松孝一 今田博文
宮崎有平

谷口忠弘

**京都府後期高齢者医療
広域連合議会議員**

井田義之

**京都地方税機構
組合議会議員**

井田義之
勢簀 毅

**丹後地区広域市町村圏
事務組合議会議員**



事務局主事
由利景子



事務局長補佐
河辺 恵



事務局長
秋山 誠

**議
会
事
務
局**

6月定例会

一般会計補正予算

光ファイバー情報化に約3億円

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月1日～22日までの22日間開かれました。補正予算7件、人事案件11件、条例制定・改正2件、請負契約の締結2件、指定管理者の変更などの計26件の議案が提案され、全て全員賛成で可決されました。

三セクへの

支援基準の見直しを

伊藤 幸男

園 三セクの支援基準があると言いが、今回も冷凍米飯に4千万円支援。総合計画で5億円支援も出ており、問題だ。
農林課長 借金完済に向け売上を伸ばしてもらおうための設備支援。

園 高齢化で独居・老人世帯が増え、バランスある食事が重要課題になっている。将来的に給食センターの活用を含め、高齢者配食サービスの検討を？
教育次長 学校給食の施設であり、無理がある。

住宅改修の利用状況は
園 今年の住宅改修助成制度の利用状況は？
建設課長 6月4日現在157件、助成金2千400万円、工事総額3億6千万円である。

災害に強いまちづくり
園 急傾斜地区対策などの、災害に強いまちづくり事業は？
建設課長 急傾斜対策と共に、土砂防止法の事業を進めていきたい。



算所会館

地区公民館の耐震診断を

有吉 正

園 算所会館の耐震診断調査の予算がついているが、各地区には古い公民館もある。公民館は、地域のコミュニティや災害時の拠点であり、公民館講座も推進している。どのように考えておられるか。

教育次長 木造、鉄筋コンクリートと区分けし、資料を整理して、方向付けしたい。

インターネットの活用
園 有線テレビだけでなく、全町光ファイバー網となった。議席にもパソコンが貸与され、条例その他すぐに調べることができる。議会も事務局からの連絡ぐらいいは、メールをもっと活用すべき。

参事兼企画財政課長 庁舎間のやりとりはすべてメール。議会もおおいに利用してほしい。

公営ポスター掲示板
園 参院選挙が間近となった。掲示板にNoを書いてほしい。脚立が必要であったり、水路の側であったり危険な場所もある。交通状況も考え、設置場所も再検討しては。

総務課長 調べて、できることから実行する。

補助金貸付制度の創設
園 補助金は、成果物を審査し、補助金が出る。例えば、100万円の事業で補助率50%では、100万円必要となる。補助金分の貸付制度が考えられないか。

できなければ、他の議員の協力も得て、9月議会で議員提案で条例を出したい。
町長 新しくつくる産業振興委員会で検討する。

電子黒板研修に多額の費用が必要か

谷口 忠弘

問 一般にメーカーや納入業者から、使い方のノウハウの研修があるが。

教育推進課長 2回あったがより深い理解が必要と思い、業者に委託し2人体制で学校へ指導に來てもらった。

問 業者ではなしに実際使う先生に行ってもらい、又近隣のすでに使用している学校に行き、日帰りでいく範囲で経費の削減をはかるべきだ。

教育推進課長 特殊なものなので理解してほしい。

受講者のその後は

問 社協に委託してヘルパー養成研修事業が行われている。受講すれば2級の資格が得られるが、今まで何人の人が受講され又その内何人介護の仕事に従事されているのか。

福祉課長 受講者は本年いれて102人、一昨年の受講者36人にアンケートしたところ27人から回答があり、介護に従事されている人は12人であった。

問 資格がありながら介護の仕事をしていない人が以外に多いことに驚いている。介護の仕事はいろんな面で大変であるカリキュラムだけではなく、精神面のメンタルな研修が必要では。

福祉課長 検討したい。



電子化による授業



がんばる生徒たち

情報通信網の

更なる加入促進を

浪江 郁雄

問 無料のFM告知でも未加入の高齢者世帯があり、区の役員も心配されている。協力はできると言っているが。

問 加入促進を検討する。府営住宅への有線テレビの対応を以前にもきいたが、現状は。

参事兼企画財政課長 現在も東京都府と交渉を続けている。

問 民間アパートでは加入が難しい所があると聞いている。現状と対応は。

参事兼企画財政課長 全ては把握していないが、加入できないアパートもある。

利用要望により対応を

問 新規の子育て短期支援事業については、病気などの理由以外にも利用要望があると思うが。

福祉課長 当面は保護者の病気により、育児が困難な時のみを想定。

電子黒板の有効活用を

問 電子黒板の導入にあたり、活用方法や、教材(デジタル教科書)の研究が必要。

教育推進課長 江陽中学校が活用の研究校に指定指導員を配置し、全校に導入された電子黒板を、全職員が活用できるようにする。

有線テレビ

番組や放送内容充実を

家城 功

問 町民待望の有線テレビが全町で視聴できるようになった。しかしながら、字幕だけの放送や電子音声など、番組の編成や放送内容などまだまだ充実する必要があるのでは。町民の期待に応えられる有線テレビにはどうか。

を心掛けたい。町民の身近な情報や話題を町民参加で番組にできるようなことも考えている。また職員も担当分野の番組を制作したりと、新たな取り組みも行っている。スタッフも未熟だが町民の皆さんの意見や感想をできる限り取り入れ、番組作成や運営をしていきたいと考えている。町民の皆さんの協力をお願いしたい。

加悦地域振興課長 一般のテレビ局の放送と同じようにすることは難しいが、いろいろな取り組み



全町で始まった有線テレビ

人と環境に優しい 無農薬の取り組み

野村 生八

問 当町の循環型農業は、京都府下でも注目されている。

色彩選別機の購入で、へりによる農薬散布を止めるなど、さらに進めるべきだ。

農林課長 自然に優しい農業に取り組みたいが、農薬散布の中止は、農家の理解が半数になっていない。今後、十分な理解を得てから取り組み。

危険な除草剤の啓発を 除草剤には、有機リンが含まれているものがあり、健康被害が出ている。町民への啓発を行うべきではないか。

町長 啓発は行いたい。役場庁舎で使われている。ただちに使用を止めるべきだ。

加悦地域振興課長 今後



岩滝焼却炉

岩滝の焼却炉の現状は

勢旗 毅

問 焼却炉修理の内容は。型焼却炉の導入は。

住民環境課長 平成14年に7千万円で設置され、木材・紙・衣類などが焼却できる小型高性能焼却炉だが、経年劣化で修理が必要になった。

住民環境課長 現在広域化を検討中で、このなかで可能と考えている。

機音の復活は

問 野田川は焼却炉はないが処理の現状は。

観光振興補助金でちりめん街道に機音を復活させたいとのことだが。

住民環境課長 岩滝へ搬入処理されている。

商工観光課長 住居の一角を借り、織機を設置してハタ織りを見ていただく計画で立ち上げの助成。

人件費の対応と

冷凍米飯の設備投資

小林 庸夫

問 行政改革大綱に基づき特別職5%、一般職3%の賃金カットを昨年までしてきた。今年も解除されているが見解は。

町長 過去2年間町民も大変な状況というなかで、組合の理解を得てカットしてきた。退職補充も抑制した人数としており、人件費も計画していたようにカットできているので、今回元に戻した。

町民の声として高給与という指摘も受けるがそれ以上に仕事に頑張ってくれたと認識している。

問 行政改革大綱との整合性はどのように判断されているか。

参事兼企画財政課長 平成22年は総人件費、前年比若干減ってきている。



三セク 冷凍米飯

されているが過去4年間合算すると1億円余の投資となるがいつまで続けられるのか。行政としてどんなことがあってもせねばならないことなのか、見極めが大切ではないか。

町長 ようやく黒字化が定着してきた。一生懸命頑張っておられることに

農林課長 会社の総合計画からみるに経年劣化した機器類の更新が終了後は債務の完済に向けて努力してもらいたい思いでいる。

ついて町が幾らでも投入したらいいものとも言えないがリフレのようなことにならぬよう計画を持って進めて行くこと大切。

問 町の資産投入されての営業、債務返済された上で使用料がいただける経営になるよう期待する。



改修される防災無線

命を守るデジタル 防災無線設備工事

塩見 晋

問 継続費の予算総額4億9484万円をかけ、今年度より3年間の計画で工事を進め、全町を統一した方式に改めるとのことだが工事の内容は。

総務課長 親局は本庁舎に置き、全町をカバーするよう中継局、子局などを整備する。

今回の補正2億9298円は親局・中継局・加

戸別受信機の処置方法
問 FM告知の工事が完了すると、補助金を受けて設置した戸別受信機が不要になるが。

参事兼企画財政課長 回収して廃棄するので、各庁舎に持参して頂きたい。処分料は町で負担する。

テレビ・ネット工事代
問 有線テレビ拡張事業でインターネットは全額自己負担になる。

同じような工事でも業者によって代金に大きな差があるようだ。

民間の取引であっても、テレビ工事のように基本的な条件の工事代金が出せなかったのか。

参事兼企画財政課長 テレビの場合1台の基本工事代金は補助金の関係で決めだが、インターネットは条件が複雑なので、事前に業者と良く話し合っ

地域医療体制拡充事業

多田 正成

問 重点分野雇用対策とは、どのような事業か。

保健課長 緊急雇用対策の一端で看護師、医療事務員など雇用、年度内事業9カ月間とする。

問 地域医療体制充実に大切な事業だが、9カ月間の雇用で本当に医療体制強化や雇用対策にな

るのか。雇用、医療など、地域対策として全体の政治的判断が必要では。

町長 本町の公共医療や個人医療のあるなかで、総合的に地域医療強化を図る必要がある。

色々取り組みながら、今回は府の補助制度の範囲で取り組む。



石川診療所

保健課長 9カ月後は制度が切れるが継続雇用をして頂ける医療機関と取り組む努力をしていく。

都市公園整備事業

問 シーサイド公園整備を、今年度5100万円かけられるが、現在の未整備地に宮津市、伊根町との広域連携のなかで、海の幸、山の幸、農産物市場のような経済活性化が図れる仕掛けができないか。

町長 他町との取り組みは非常に難しい、観光バスの止まる場所はそれぞれにある。当町の売りは歴史文化、自然などソフトの面が売りで結果経済効果を生む。

問 町長のいわれることは美しく、綺麗で大変良いのですが、経済の活性を図るといふことは、そんな生やさしいことではできないのでは。

町長 今後色々な意見がある。産業振興会議などで話し合っていて頂き、どうあるべきかを考える。



阿蘇シーサイド公園

広報体制の充実を

杉上 忠義

問 「広報とは地域住民と相互理解するためのコミュニケーション」と定義されている。

例えば「阿蘇シーサイドパーク」の計画は加悦谷地域においては解りにくい。昨年の夏の商工会青年部のイベント開催に

よって少し関心を持たれたぐらいだ。本町は3庁舎に分かれているため、報道関係者からも取材しにくいとの声もある。

一日一つ何か与謝野町のことを報道してもらいたい。積極的な心がけがいのではないか。

建設課長 阿蘇シーサイドパークの必要性、費用対効果、工事の進捗状況等を町民に分かりやすく伝えていく。

参事兼企画財政課長 ために庁舎が分散しているために情報発信しにくい点もあるが、企画財政課が行政からのメッセージを発信する役割をしっかり担当していく。

高速道路無料化対策は

問 いよいよ無料化の社会実験が始まる。地域間競争が激化すると予想される。報道によると、中丹、南丹両広域振興局と兵庫県丹波県民局が府県の枠を超えた連携による特産品「丹波ブランド」を全国に売り込む準備を進めている。本町も「丹波広域観光キャンペーン」の積極的な参画が望まれるが。

商工観光課長 今までリーダーシップを発揮しながら取り組んできた。さらに広域観光を推進していく。

特別会計補正予算



国民健康保険会計

平均2万5千円の

負担軽減

野村 生八

問 他の町では、16%以上の国保税引上げが多い。当町では、1億円繰り入れて据え置くということがあるが、軽減額は幾らになるか。

保健課長 一世帯平均約

2万5千円になる。
問 国保税は大変な負担になっており、今後も据え置きに努力をすべきでは。
町長 努力はするが、必ずできるとはいえない。

簡易水道会計

将来の

値上げにならないように

野村 生八

問 一般会計からの、適切な繰り入れをすれば、幾らの赤字になるか。
水道課長 約7千万円の赤字になる。

の額を繰り入れられており、このままでは将来の値上げにつながるのでは。
参事兼企画財政課長 3月補正で1億円繰り入れた。できる努力はしている。



近い将来簡易・上水道統合

どうする

上水道と簡易水道の格差

糸井 満雄

問 水道整備が平成28年の事業統合（上水道と簡易水道）を視野に計画されているが、収支面で大きなギャップが生じる可能性がある。上水道は平成22年4月値上げにより、また施設整備の必要性がないことなど、年々赤字幅の減少で経営改善が図られ、平成28年度には赤字になる見通し。一方、簡易水道では、平成21年より6年間で町債発行（借金）28億円とし、施設整備費33億円の設備投資が計画されている。即ち企業会計としては、上水道は赤字、簡易水道は大きな赤字となり、事業統合に支障をきたす恐れがある。町民に大きな負担とならないよう今から検討し、対策を立てるべきだ。

水道課長 上水道は平成12年までに改修を終え、現在は借金が減少し、赤字に向かっている。一方簡易水道は、現在約半分の整備が進んだ状況なのか、あと半分の整備が必要。財源は、起債（借金）が必要であり、借金が増えていく状況になる。簡易水道の借金は平成26年ピークを迎え、残高は約65億円、減価償却2億7千万円、3億円になると予測すると、水道収入約3億円からして一般管理費・維持管理費の負担がでず赤字になる。従って、簡易水道は、今のうちから蓄えを増やし、今後に向けての安定的経営の基盤を図りたい。
そのため財政担当も十分協議を図りながら安定した経営に向けて努力する。

条例改正

駅舎

指定管理者の変更

職員の勤務時間、育児 休暇などの条例改正

指定管理が適切か

勢旗 毅

臨時職員の扱いは

勢旗 毅

問 子どもを生み育てるためには、職場環境は非常に大切だ。これは一般職の条例改正だが、臨時職員の場合の扱いは。

総務課長 適用になると考えている。

問 臨時職員等の処遇の改善について、要望を国に上げる必要があるが。

町長 女性町長の会でも要望したが、あらゆる機会を通じて要望したい。

問 この法人の実績を見ると、指定管理を望んでおられるのか。S・L広場が活動の拠点であり、産業遺産としての一体化のなかでこそ、大きな実績に繋がると思うが。

商工観光課長 一体化が望ましいが、貴重な資料もありお願いした。

職員削減のなかで

休暇取得が可能か

谷口 忠弘

問 改正は必要だが、休日出勤が必要な事業の見直しを進めないと、現実取得が無理ではないか。

町長 事業の見直しは進めていくし、必要な時は臨時職員やアルバイトで対応していきたい。



旧加悦鉄道駅舎

5月臨時会

一般会計補正予算

KYT事業の

地元業者の下請額は？

伊藤 幸男

問 有線テレビ拡張事業 23億円の地元業者への下請け分は？

参事兼企画財政課長

現

国民健康保険税条例

国保世帯の基準所得は？

伊藤 幸男

問 国保税の負担は家計のなかでも大きい。国保世帯の基準所得は？

保健課長

基準所得は、

明確な数値は示せないが、所得は年々下がっている。

専決処分 税条例の一部改正

専決処分のあり方を

見直すべき

伊藤 幸男

問 今回の専決処分は、まだ十分時間があるものまで含まれているが。

税務課長

指摘の通りだが、一緒に入れた。



人事案件

(敬称略)

副町長

再 堀口卓也 (S木)

監査委員

再 足立正人 (上山田)

公平委員会委員

新 四宮裕美子 (男山)

固定資産評価

再 和田洋一 (加悦)

再 上田 昭 (岩滝)

財産区管理委員

後野財産区管理委員

再 吉田元良

金屋財産区管理委員

再 依田嘉則

再 藤原 修

再 井上和雄

再 井上徳雄

再 今田雅範

人権擁護委員

候補者の推薦

新 中島晃昭 (加悦)

教育委員会委員

再 白杉直久 (幾地)

再 垣中 均 (京丹後市)

職員懲戒審査

委員会委員

新 奥野 稔 (加悦)

選挙管理委員会 委員及び補充員

委員会委員

三田 幸雄 (男山)

坂根 道崇 (石川)

而原 昇 (後野)

高岡 茂代 (岩滝)

委員会委員補充員

谷口 勝雄 (幾地)

織田喜代之三 (河内)

今川 孝男 (岩滝)

井上 則男 (金屋)

議会に提出された要望書

議会に提出された陳情書

子ども手当での 廃止を求める意見書の 提出に関する陳情書

提出者 日本の子供の未来を・守る会 京都支部

京都支部長 人見英充

3月26日に国会で成立した子ども手当では、満額であれば防衛費を超える巨額の支給を要します。

支給の為にすべて国債に依存することになります。また、受給対象者に「日本国籍を有する者」という文言が無いのも問題として、このままでは、日本を危うくします。

(全議員に配布)

非核・平和施策に 関する要望書

提出者 2010年原水爆禁止国民平和大行進

京都実行委員会

代表 岩橋祐治

毎年10万人が参加し、歩きつづけてきた「国民平和大行進」は今年で53回を迎えました。

核兵器廃絶という共通の願いにたつて、貴自治体におきましても例年にもましてのご支持・ご賛向をお願いいたします。

(全議員に配布)

[質問議員と内容]

高齢世帯への固定資産税の減免は 多田 正成	庁舎統合問題の町長新聞発表は遺憾 糸井 満雄
太田町政二期目取り組む抱負は 家城 功	高齢化の下、まちづくり協議会を 伊藤 幸男
学校統廃合の進め方は 塩見 晋	産業振興条例の制定を 和田 裕之
新町誕生後の課題と成果 杉上 忠義	あらゆる年代の方に雇用の場を 谷口 忠弘
産業振興ビジョン何から始めるのか 小林 庸夫	命を救う救命救急センターの設置 野村 生八
町の消防体制を問う 宮崎 有平	2期目に向けた町づくりは 今田 博文
出雲大社蔵分祠との連携は 勢旗 毅	丹後地区ごみ広域処理研究会の展望 赤松 孝一

6月定例会は14人が質問した

ここが聞きたい

◎ 高齢世帯への固定資産税の減免は

▲ 資産保有者は担税力を有しておられると見る



多田 正成

問 当町は織物で栄えた町だけに大きな工場跡や家屋、また、代々引き継がれた資産を保有され、後継者のおられないなかで高齢化が進み固定資産税の納税が重荷となる。

町長 一定の減免処置は条例に定めているが、定め以外は担税力を有していると考えます。高齢者は年金収入、滞納額も年々増えている。老後は快適に、そのために高齢世帯には一定の基準を設け減免対策を。

町長 厳しい状況は重々承知している。保有固定資産の性格上、減免処置は今の所考えていない。



大きな家屋・資産

問 観光のビジョンを問う

町長 観光協会、商工会（共助）行政（公助）の役割分担を示し進める。

問 リフレカやの里の再開が待たれるが、現在、農林課の所管だが、観光の拠点として観光課の所管にならないか。

町長 観光開発に特化した施設の考えはない。観光と農林振興を目的とし周辺施設と連携し観光にもつなげたい。

◎太田町政二期目取り組む抱負は

▲町民が主役、慎重に協議し進めて行きたい



家城 功



マニフェストの実現

問

二期目に入り様々な事業や取り組みを手掛けられる訳だが、大変難しい問題も多い。将来を担う子どもたちに希望の持てる「まち」を引き継ぐことが私たちの使命である。決意、抱負は。

町長

事業や取り組みには、方向性を明らかにすべきもの、財政事情から判断が必要なもの、住民の声より検討が必要なもの等々、一つ一つを着実に町民とのキャッチボールのなかで前進させ、町としての方針を決めていく。

職員の更なる意識改革

職員の皆さんは、日頃から大変忙しい業務を遂行され頑張っていたら

いる。しかし町民の人からは、未だに不満や苦情をお聞きすることがある。当たり前業務だけではなく、一歩前進した考えを心掛け、気配りや思いやりの気持ちで対応する姿勢が大切では。

町長

職員には「報告・連絡・相談」「些細なことでもしっかりと受けとめ笑顔で誠実に素早く行動する」を常に心がけるよう指導している。町民の人からの信頼を得られるよう、小さなことでも気配りができるよう、今後指導していく。

◎学校統廃合の進め方は

▲参事に総合調整を指示した



塩見 晋

問

教育・保育環境検討委員会の提言書による望ましい小学校の規模と、10年後の児童数の計算をすると町内に3校となる。

町長

教育委員会で「適正規模・適正配置計画」を策定していただき、その計画を庁舎内で協議をして進める。

問

行政側で一方的に決めていくのではなく、地域や保護者の意見も十分聞いていただきたい。

町長

軽々に進めることはできないが、一定の方向性を示す必要がある。

問

祝祭日のごみの収集 すべてのごみの収集のお願いである。生活しやすい環境を整えていく上で必要であると考えらるが。

町長

現在、可燃ごみはハッピーマンデーの収集もしている。厳しい財政事情のなかで無料化を続けている現状の理解を願う。



小学校の授業風景

◎新町誕生後の課題と成果

▲住民の一体感の醸成がすべての課題



杉上 忠義

問 新町として、住民と行政が協働で取り組んできた成果と課題を、広く町民に知っていただくことが重要。「ひと、ものが行き交う町」としての農林業・商工業・観光・環境・健康・教育について問う。

町長 「観光振興ビジョン」「産業振興ビジョン」の策定。「京の豆っ子米」の販売拡大と学校給食への導入。「住宅改修助成制度」による「循環型経済」による仕事づくりを行ってきた。福祉施設の充実と支援。全小学校の耐震化。公民館事業の推進。住民の一体感の醸成に最もよいツ

ールとなる有線テレビの拡張など、すべての施策が住民のためのものであったと思う。

問 観光振興に全力投球を

町長 「美心与謝野」のイメージを大切にして、「観光振興ビジョン」の具現化を図りたい。

問 観光産業から生れる経済効果は大きく「雇用の創出」への期待も大変大きなものがあると認識している。

町長 重要課題であるが、観光振興により働く場の確保につながることを期待されるが。



町民の声を大切に

◎産業振興ビジョン何から始めるのか

▲産業振興会議を早期に設置する

問 経済力の立て直しが最大の課題であると思うが、関係者の理解と意欲を得るための方策は。

町長 すでに民間にあり、考えていない。

問 地場産業などの高度化設備補助金制度の創設など、起業と現在頑張っておられる企業の支援を。

町長 中小企業振興条例の考えは支援する条例にあらず。それぞれの役割を明確にし、町の活性化に寄与していくという趣旨。

問 町内空き店舗・工場の活用を第三者が、町全体の案件であれば助案したい。

町長 議員と職員では立場が違いますが、町全体の案件であれば助案したい。



小林 庸夫



産業振興ビジョン

Q 町の消防体制を問う

A 深刻な問題であり、検討中

問 現在の消防団に欠員があるが、団員の確保には地域の協力が

いるのでは、また他町へ勤務されている団員が多くあると聞くが、平日の昼間の火災に対応ができるのか。

町長 実際の団員数は、平成22年

6月1日現在で347人、36人の定員割れとなっている。

また、団員のサラリーマン化が進んでおり、自営業者が2割、サラリーマンが約8割となっている。

しかも、居住地から遠い市町へ勤務される団員が多くなっている。

このようななかで、平日の昼間の火災出動は、特に定員数が少ない分団では1〜2人の団員しか消防車庫に集まること



宮崎 有平

できない状況があり、現在の状況は、非常に深刻であると痛感している。現在、消防団と消防委員会では宇治田原町の消防団支援隊等を参考にしている。

また、団員の確保は町広報などを通じて、女性団員の募集を行ったり、区長会などに、団員の加入推進の後押しをお願いするなどして、地域にも協力していただいている。



団員の強化を

Q 出雲大社巖分祠との連携は

A 連携を図るため検討させたい



勢籜 毅

問 観光振興ビジョンが策定されてから1年経つ

が、基本構想の力強い思いが伝わってこない。観光入込客が98万人、道の駅に41万人、出雲大社への参拝客が45万人と公表されている。この分祠との連携が重要だ。

町長 観光協会にも入会パンフでもお世話になっており、更なる連携に向けて、観光協会や担当課でも検討させたい。

ゆるキャラの公募を

問 全国の自治体や大きなイベントでは、マスコットキャラクター「ゆるキャラ」が大きな話題だ。特に、彦根城祭に誕生した「ひこにゃん」は大変な人気だ。町でも公募を考える必要はないか。

町長 検討課題としてたい。

くじ引きは入札か

問 入札改革で、予定価格が事前公表されるようになった。くじ引きの増加で国交省でも問題視している。本町も73%がくじで決まっているのが実態だ。

副町長 応札の時点で競争原理

が働いている。

問 電子入札でより透明化を図るべきでは。

副町長 一定のメリットは考え

られるが、インターネット環境も必要で、検討していきたい。



巖分祠との一体化

Q 庁舎統合問題の町長新聞発表は遺憾

A 庁舎統合問題に誤解を与えたことにお詫び



糸井 満雄

問

本庁舎問題は合併協議のなかでも最重要事項であり、合併までの歴史的経過を尊重し熟慮するならば、十分な検討と慎重な対応、配慮が望まれる。

さらに、庁舎統合問題は、行政組織の根幹に関わる問題でもあり、住民サービスに直接影響を与えるだけに、「3庁舎を加悦庁舎に統合することになるだろう」との町長新聞発表は遺憾に思う。

町長の発言は非常に重いものがあり、与える影響は大きい。決定された経緯、時期、住民合意形成などは、いつの時期にされたのか。

町長

合併後、職員
の減少や各種



加悦分庁舎

委員会の意見など役場庁舎に関する状況も大きく変化しており、総合庁舎への移行について議論を始める時期にきていると思っている。

「3庁舎を利用して総合庁舎方式に移行できないか」との前提で、平成20年度に庁舎ワーキング・グループを設置し検討させた結果、面積、周辺施設、合併特例債などから、加悦庁舎が適しているとの案が示されたもので、加悦庁舎に決めた訳でない。結果的に多くの皆様誤解を生じさせたことをお詫びする。

Q 高齢化の下、まちづくり協議会を

A その役割を区が果たしている



伊藤 幸男

問

5月政府が出した高齢社会白書では、独居老人と老人世帯が増し、年金で暮らしもできず、高齢者の犯罪が増加、犯罪に巻き込まれる高齢者も急増し、孤立が広がり、そして孤独死まで起きていると指摘している。

この背景には、社会保障の崩壊による高齢者の貧困層の急増がある。こうした課題は、他町のことでない。いま社会情勢の激変の下、全国で、住民の声や



町政懇談会

要望を活かし、行政運営の一翼を担う、地域まちづくり協議会が作られ、住民参画・協働・助け合いを支え合うまちづくりの模索が急速に広がっている。国・府・町も高齢化社会の現状に対応できていない。

町政運営からも、こうした地域まちづくり協議会が、緊急な最重要課題

ではないか。

町長

述べられた高齢化などの課題については認識している。高齢化対策の施策も今後進めていく。指摘のこの役割を区が担ってくれているので、新しい地域協議会設立はかえって複雑になると考えている。

Q 産業振興条例の制定を

A 早急に条例化を進めたい



和田 裕之

問

中小企業は地方経済に
とつての「根幹」であり、
地方では8割を超える雇用の
最大の担い手である。しかし、
大企業との格差は一層広がり、
この不況は中小業者・勤め人
まで厳しい状況に追い込まれ
ている。

全国の自治体でも近年条例
化が進んでいる。

本町でも所得減少世帯も増
加しており「町民の皆
さんや中小業者」の暮
らしと営業を守るため、
支援策を講ずることが
急務であると考えらる。
産業振興条例の早期
制定を実現して頂きた
い。

町長

指摘の通り近
年、全国自治
体で条例化が進んでい
る。地域経済を活性化



産業活性化を望み

させるには地域で頑張る
中小業者の役割が大変重
要で、この条例を理解し
ていただく場も必要であ
る。

セミナーの開催、仮称
産業振興会議の設置も検
討しており、早期に条例
化を進めたいと思うが、
慎重に進むことも必要と
考えている。

問

支援策の一環であ
る本町・住宅改修
助成制度は14倍以上の経
済効果が実証されたが、
3カ年計画であり、延長
のお考えはないか。

町長

いまのところ
検討はしてい
ない。

Q あらゆる年代の方に雇用の場を

A 働く機会、場所を広げる努力をしたい

問

雇用の状況が厳し
いなか、今般国や
府から多額の交付金が交
付されたが、有効な活用
ができたのか。

町長

2カ年で5つ
の交付金、総
額約12億円、これを活用
し約28億円の事業ができ
た。

問

効果が最もあると
思われる事業は。

町長

住宅改修助成
事業では、申
し込み件数は本年3月末
で451件、又経済効果
においては助成額に対し
約15倍に。

問

事業を実施するな
かで、地元企業へ
の受注機会に配慮したの
か。

町長

そのことを十
分考え事業の
振り分けを考えた。

働く場所を作ること

問

工賃が少なく転業
したい、子供を保
育園に預けている間少
しでも仕事をし収入を得
たい、学校を卒業して地
元に残りたいが働く場所
がないなど雇用のニーズ
は多様だが。

町長

産業振興や企
業誘致を粘り
強く進めたい。また雇わ
れる企業への支援も考え
ていきたい。

町長

成長分野である医
療、福祉、教育な
どは、雇用の受け皿とし
て有望だが。

町長

そう考えてい
るので今後も
進めていきたい。

問

庁舎の玄関フロア
に大型テレビで職
業紹介を。

町長

検討したい。



谷口 忠弘



雇用の場を

命を救う救命救急センターの設置

A 京都府・近隣市町と話しあう



野村 生八



命を守るドクターヘリ

問 飛び始めた、ドクターヘリの課題は何か。

町長 夜間や悪天候時には出勤できないこと。そのため、ドクターカーの運行が研究されている。

問 24時間365日、どんな治療もできる救命救急センターを設置してこそ、この地域の命が守られるのではないかと。

町長 地域のことを考えること、救命救急センターの設置は必要と思う。府や近隣市町と話をすることがこれから始めたい。

問 命を守る救命搬送にドクターヘリの運行が始まり、消防が命にかかわると判断したときは与謝の海病院ではなく、豊岡病院に搬送するようになった。ヘリが飛ばない時も、治療ができる病院に直接搬送するよう変えるべきではないか。

町長 現状では、まず与謝の海病院に搬送してということには変わらない。

2期目に向けた町づくりは

A 住民の皆さんの町政への参画に期待している



今田 博文

問 合併して4年間、町政運営の舵取りをしてこられた。実績をどのように評価され、2期目につなげられるのか。

町長 町の礎を築くこと。3町の一体感を醸成することを目標にやってきました。まだ70点位だと思っ

問 持続可能な町、身の丈に合ったまちづくりとは。

町長 財政運営を安定させながら、ハード事業に偏らず住民の皆さんが求めるソフト事業を進め、次代を担う若者が定着できるようにしていくこと。



再開の兆し(リフレ)

問 リフレの再開は

町長 9月には予算を計上し、設備の点検や施設の改修などを発注して、年度内完成を目指す。風呂も再開する。

リフレ周辺の活性化は

問 リフレ周辺は「与謝野文」と位置づけ複合的に施設がまとまっている。活性化策は。

◎丹後地区ごみ広域処理研究会の展望

▲年内に方向性が判断できる資料を作成したい



赤松 孝一

問 丹後2市2町で「丹後地区ごみ広域処理研究会」を昨年10月に設立し、今後のごみ処理について検討をしているが、課題と今後のスケジュールは、宮津市と地元住民との清掃施設の協定期限から逆算すると、間に合わないのでは？

町長 現在は杵組みも確定していない。

年内に方向性が判断できる資料を作成したい。

協定期限内に新施設の整備ができるよう努力する。



増大するゴミ



京丹後市のリサイクル

新しい広報委員会

今回の発行から新しいメンバーが担当します。第2期の与謝野町議会の元気な内容を、正確に、読み易く、より早く伝えられるように努力していきます。ご愛読いただき、ご意見をお寄せください。



三河内小学校の紹介

三河内小学校は今年度、児童数150人、教職員数19人、PTA会員数106人でスタートしています。平成22年度はこれまでの積み上げを礎に、「挨拶日本一の学校」「目標に向かってチャレンジする子ども」「きまりを守ってみんなが楽しく過ごせる学校」をキーワードとして、教育活動全体を通じて取り組んでいます。PTAでも「あいさつ標語」の取り組みをお世話になり、学校とがっちりスクラムを組んで挨拶環境づくりに励んでいただいています。



発行/編集：与謝野町議会広報特別委員会
住所：〒629-2498 京都府与謝郡与謝野町字加悦（加悦庁舎3階）



ホームでの餅つき大会

これからも与謝野町を中心に、丹後地域で安心して暮らせる福祉の街づくりのお手伝いができるように頑張りたいと思います。

介護の仕事は大変なことが多いです。しかし大変ななかにも、介護や支援を必要とされる方に心を込めて接することで、笑顔を返していただける…：こんな素敵な仕事はないと思います。町の方々の温かさにふれ、ますます、介護が必要になりお困りの方やご高齢になつて不安を抱えられた方への支援をさせていただきたいと思っています。

与謝野町三河内でグループホームを開設してから、お蔭さまで1年がたちました。京丹后市で生まれ育った私に、介護に対する思いを酌んでいただき、事業の運営を任せていただいた与謝野町の方々には、感



荻野 太久哉

ちょっとひとこと

「グループホームよさの」を開設して

謝の気持ちでいっばいです。また、三河内の方々には、お祭りや運動会など地域の行事に参加させていただきます。何より日ごろから、気軽に声を掛けていただけることが、うれしいです。